

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (江田島市立三高中学校)

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 「文明のおこりと日本の成り立ち」
- ④ 本時の目標 古代文明の特色を理解し、世界各地でおこった文明の共通点について考え、発表することができる。
- ⑤ 学習の流れ (2時間目/全6時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時までの学習内容を振り返る。 ○宿題の確認をする。 2 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の発生等について、確認させる。 ・家庭学習として、予習プリントを配布しておく。 	
古代文明の特色を理解し、世界各地でおこった文明の共通点について考える。		
3 4つの大きな文明についての説明を聞く。 ○4つの大きな文明についての説明を聞く。 4 4つの大きな文明について、共通点を考える。 ○しっかり考え、ワークシートに記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・次のポイントを押さえる。 ◇エジプト文明、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明 ◇各年代 (B.C. 3000年ごろ～) ◇河川の流域 など ・4つの大きな文明の共通点について「考える」「まとめる」「自分のことばで説明する」ことを教科書や板書、資料集をもとに行うよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代文明が発達した要因として、大河の流域・農耕の発達・巨大建造物・海岸沿い・同緯度などを正しく理解している。〔社会的事象についての知識・理解〕(ワークシート)
5 文明の共通点から、他地域に文明があるのではないかと考える。 共通点が一致すれば、他にも文明は発達するのではないだろうか？ 探してみよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・その地域をなぜ候補に挙げたのか、理由を考えさせる。 (予想される生徒の理由) ・○○地域は、□□川という大きな河川があり、4つの古代文明と共通点があるから。 ・△△地域は、緯度が4つの古代文明とほぼ同じ位置にあり、気候も温暖だと考えられるから。 など ・2名(ペアトーク)～4名(グループ)での協同学習により、自分の考えを分かりやすく説明させる。 ・ワークシートに記入させ、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を活用し、古代文明が発達した共通点を踏まえて、他地域の文明について考え、判断し、適切に表現している。〔社会的な思考・判断・表現〕(ワークシート)
6 グループ等で話し合う。 ○4つの大きな文明の共通点から、考え・まとめ・自分のことばで説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2名(ペアトーク)～4名(グループ)での協同学習により、自分の考えを分かりやすく説明させる。 ・ワークシートに記入させ、発表させる。 	
7 本時のまとめと振り返りを行う。 ○自己評価カードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容について、考えを深めさせる。 ・宿題として本時の復習と次時の本読みをするよう指示する。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 地図や資料などさまざまなテキストを活用し、4つの古代文明の発達した共通点に着目して、他地域の文明について考察し、文明が発達した理由を説明することができる。

言語活動の充実のための工夫

- ペアトーク・グループでの話し合いを活用する。
- 理由付けについて、あいまいにならないよう、根拠を明らかにさせる。
- 『三高式授業プロセス』(「教えて考えさせる授業」展開を軸とした学習活動)を実践する。